



令和2年も残りわずかとなりました。令和3年が平和で幸せな年になることを願っていますね。

クリスマス会では、楽しみにしていたサンタクロースの登場と触れ合いに、子どもたちは目を輝かせて、頂いたプレゼントに大喜びでした。クリスマスにちなんだメニューがランチプレートで配られ、子どもたちはお替りをたくさんして、心もお腹も幸せなひと時だったことと思います。

年末年始のお休みに入りますが、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行い、健康で新しい年を迎えられる様心掛けていきたいですね。

今年一年、コロナ禍の中、保育運営にご協力、ご支援をいただき、子どもたちの保育を進めることができたことに、大変感謝申し上げます。新しい年に元気な笑顔で登所する姿を楽しみにしています。来年もどうぞよろしくお願いたします。

1月の行事

1日～5日	休 所
6日	保育始め
8日	鏡開き
13日	誕生会 カルタ大会
14日	4歳児参観日
15日	4歳児参観日
19日	避難訓練
21日	3歳児参観日
22日	3歳児参観日
29日	5歳児縄跳び 記録会 (自由参観です)



かるたとりたいかい

日本で古くから親しまれている伝承遊び。伝承遊びは、子どもの人数や場所に合わせて遊びを工夫できる良さがあります。遊びを通して、子どもたちのコミュニケーションが活発になります。また、ひらがなを覚え始める年長児クラスには、楽しく遊びながら言葉を学んでいくよい機会となります。是非、ご家庭でもお子さんと一緒にカルタ遊びを楽しみましょう。

マスク持参に関して

- ☆感染防止の為3歳以上児のお子さんは、毎日マスクの持参をお願いいたします。
- ☆お子さんが衛生的にマスクの保管が行えるよう、マスクケースまたは、ジップロック等の袋に名前を記載して用意してください。
- ☆毎日マスクの取り換えを行い、衛生的にも留意しましょう。

ホッと一息

昨年、一時的に担任として保育を行っていた子どもたちが1歳児となり、事務室に可愛い笑顔を見せてくれることがあります。「この先生のお名前は？」に、たどたどしい発音ですが「えりこ先生！！」と言ってくれました。言葉を覚える時期に、名前を覚えてくれたことに感動！！

子育てワンポイント～あそびが子どもを育てる～ 子どもは遊びを通して成長する



幼児期は、遊びを通して感覚を働かせ、色々な刺激を受けます。遊びを通して運動します。遊びを通して想像し、物をつくります。遊びを通して他の人との関わり方を身につけます。遊びを通して「ルール」を理解します。遊びを通して回数を数えたり、人数を数えたりして数を学びます。

*身体を使ったあそびは、言葉、上下や前後（空間概念）人の数を数えるなど（数概念）の他形・色・大きさ・重さ・速さ等様々な概念について、感覚的に経験しています。これらの経験は、小学校以降の様々な教科に繋がる経験でもあり、遊びには科学的な学びがいっぱいです。乳幼児期の知的機能は未分化ですので、直接的体験（体を使った遊び）によって、様々な感覚を働かせ知的な学びの基礎、根っことなる経験と言えます。

遊びの大切さを認識してのびのびと遊ばせましょう

1月のクラス目標

*0歳児（もも）

- ・生活リズムを整えながら寒い冬を元気に過ごす
- ・体調や気候に留意しながら戸外遊びを楽しむ
- ・保育者や友だちと関わる喜びを感じる

*1歳児（いちご・さくらんぼ）

- ・冬の自然に触れ、戸外に出て遊ぶことを楽しむ
- ・保育者に支えられながらできることは、なんでも自分でしようとする

*2歳児（ばなな・れもん）

- ・いろいろな運動遊びを楽しむ
- ・冬の遊びを楽しむ

*3歳児（みかん）

- ・お正月遊びに興味を持ち、保育者や友だちと楽しむ
- ・いろいろな遊びや活動を通して、異年齢児と触れ合い楽しくあそぶ

*4歳児（めろん）

- ・お正月の遊びや冬の遊びを楽しむ
- ・異年齢児とのつながりを広げ、意欲的に活動し、自分の力を発揮する

*5歳児（ぶどう）

- ・お正月の遊びや冬の遊びを楽しむ
- ・遊びや経験を通して、文字や数への関心を高め、書いたり読んだりすることを楽しむ



＝お知らせお願い＝

- ☆お正月は、夜更かし、寝不足といった事態に陥りがちです。体調を崩さないよう生活リズムを乱さず、過ごせるよう心がけましょう。
- ☆休み明けは体調を崩しやすくなっています。家庭での体温測定を行いお子さんの体調管理をお願いいたします。
- ☆お天気の良い日は冬の戸外遊びを楽しみます。体調不良等で戸外へ出ることができないお子さんは、朝、必ず保育士へお伝えください。

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。



思考力の芽生え

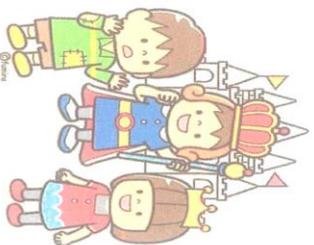
身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。

また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付く、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。



豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。



自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。

また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちよくなる。

